

平成22年度 白河市一般会計当初予算決まる

248億6000万円

市民生活を守り、地域発展の基礎づくりの積極型予算。

平成22年3月定例会は、3月3日開会し、条例案16件、単行議案3件、予算案18件、報告3件の合計40件。追加議案16件が提出され、全て原案どおり可決されました。

平成22年度当初予算の特長は、次の6つの重要な柱によって構成されています。

- 1 産業の振興と雇用の確保
- 2 教育・生涯学習の推進
- 3 健康・福祉・医療の推進
- 4 社会基盤の整備
- 5 安全・安心の確保と市民とともにつくるまちづくりの推進
- 6 市民から信頼される行政経営の推進

一般会計当初予算の概要

合併以来最大規模の当初予算となっており、対前年度比で24億5000万円、率にして10・9パーセントの増となっています。

概要については、

- 中学生議会関係費47万5000円。市内8中学校3年生による模擬議会を開催します。
- 新白河駅バリアフリー事業534万1000円。新白河駅にエレベーターを設置。
- 地域づくり活性化支援事業

補助金600万円。白河・表郷・大信・東の4地域に各150万円。各地域活力の充実を図ります。

○地域の底力再生事業補助金984万円。地域コミュニティ基盤強化支援656万円。道路・

河川・地域清掃活動や老人会・子供会活動等、多くの町内会に共通する活動に対し、町内会の世帯数に応じ補助する。

・地域コミュニティ活動支援328万円。災害時要援護者の支援、地域環境活動（花による環境美化等）、地域交流活動（イベントなど）等に対して、

基盤強化支援額の2分の1を補助します。

○循環バス運行事業1882万円。公共施設、駅、病院、

中心市街地、住宅団地等を結ぶ市内循環バスの経費です。

○集会所整備事業1億5119万8000円。老朽化した集会所の改築を行い、地域コミュニティの充実を図ります。

○庁舎省エネルギー事業2155万7000円。本庁舎及び各庁舎において、照明

の省エネ設備を整備し、地球温暖化対策の重要性を啓発します。

○国際交流関係事業326万9000円。白河市中学生海外派遣・交流事業。フランスコンピエーニュ市へ中学生20人を派遣します。

○重度障がい者支援事業1億1504万2000円。人工透析患者、在宅重度障がい者、重度心身障がい者に対し医療費等を支給します。

○特定疾患患者見舞金支給事業1302万円。特定疾患患者や慢性透析療法を受けている方に対し、見舞金を支給します。

○障がい者自立支援事業6億3252万4000円。

○子ども手当支給事業11億4702万4000円。中学校修了までの子どもを対象に1人月額1万3000円を支給します。（予算計上は4月から1月分まで）

○こども医療助成事業2億1933万8000円。平成22年7月からは、入院外来ともに0歳児から小学校6年生までに医療費の無料を拡大。平成22年7月1日より実施します。

○予防接種事業8183万9000円。乳幼児の各種予防接種。中学1年生、高校3年生を対象に麻しん・風しんの予防接種。高齢者のインフルエンザ予防接種。

○健康診査事業6668万1000円。集団検診5月から9月までに40日間実施。胃がん等や肝炎検診、骨粗鬆症検診などを実施。

○新エネルギービジョン策定事業590万円。地球温暖化防止、循環型社会形成及びエネルギー資源多様化の観点から、本市の地域特性を踏まえた地域新エネルギービジョンを策定することにより、新エネルギー設備（太陽光発電等）導入を行う設置者に対して助成事業の対象となることから、市の補助事業の導入の検討をします。

○しらかわ型自給率アップ事業補助金416万4000円。平成22年度米の生産調整の制度変更により、助成額が減額される作物があるため、市が定める大豆等の奨励作物に転作する農業者に対し、補助金を交付します。

○水田活用促進事業補助金300万円。野菜などの園芸作物を水田に作付けするため、暗渠排水や土壌改良などの

基盤整備を行う農業者に対し、事業費の2分の1（10アールあたり10万円を限度）を補助します。

○米粉利用推進事業補助金127万4000円。米粉としての米の消費拡大による食糧自給率の向上を図るとともに、地元産米による米粉の利用推進、地域振興を図る。市内すべての小中学校に対し、小麦粉パンと米粉パンとの価格差について補助します。

○農業用施設整備「結」支援事業800万円。町内会が自ら行う土側溝へのU字溝敷設や農業用施設の修繕等において、市民協働の一環としてその原材料を支給し、農業用施設の保全活動を促進します。なお、1町内会年1回35万円が限度です。

○白河観光物産協会（仮）法人化事業2353万8000円。民間のノウハウを生かして誘客、宣伝、情報発信をすするため、（財）白河観光物産協会（仮）を設立し、観光案内所を兼ねた新事務所を白河駅構内に設置します。

○道路新設改良事業費4億円。白坂駅十文字線や金勝寺大谷

地線ほか改良工事を予定しています。

○河川整備事業5000万円。原瀬川の改修工事です。

○小学校施設管理費4089万5000円。義務教育施設トイレ洋式化改修事業や暖房機改修工事。中学校は23年度に改修する予定です。

○釜子小学校整備検討委員会運営費10万円。釜子小学校の整備に向けた検討会を設置します。

○教職員パソコン購入事業2000万円。小中学校教職員の学校教育の充実を図るため年次計画で、校務用のパソコンを購入します。

○白河第二小学校建設事業6億2445万7000円。校舍建設第1期工事、屋内運動場プール実施設計委託等です。

○白河中央中学校改築事業基本構想策定費10万円。中央中学校の改築に向けた基本構想

表1 会計別当初予算の推移

(単位:千円)

会計名	平成21年度 ①	平成22年度 ②	前年度比 (%) ②/①	比較増減 ②-①
一般会計	22,410,000	24,860,000	10.9	2,450,000
特別会計				
国有林野払受費特別会計	185	185	0.0	0
教育財産特別会計	822	636	▲22.6	▲186
小田川財産区特別会計	1,508	1,420	▲5.8	▲88
大屋財産区特別会計	928	188	▲79.7	▲740
樋ヶ沢財産区特別会計	284	282	▲0.7	▲2
土地造成事業特別会計	74,544	45,606	▲38.8	▲28,938
国民健康保険特別会計	6,208,934	6,378,625	2.7	169,691
老人保健特別会計	15,896	2,067	▲87.0	▲13,829
後期高齢者医療特別会計	486,041	486,416	0.1	375
介護保険特別会計	3,661,965	3,720,866	1.6	58,901
地方卸売市場特別会計	24,590	27,320	11.1	2,730
公共下水道事業特別会計	2,343,809	1,890,174	▲19.4	▲453,635
農業集落排水事業特別会計	1,262,478	1,285,174	1.8	22,696
個別排水処理事業特別会計	19,516	48,913	150.6	29,397
簡易水道事業特別会計	303,939	329,578	8.4	25,639
土地取得特別会計	-	-	-	-
国民健康保険表郷クリニック特別会計	-	-	-	-
小計	14,405,439	14,217,450	▲1.3	▲187,989
企業会計				
水道事業会計	1,802,553	1,543,812	▲14.4	▲258,741
工業用水道事業会計	78,420	79,081	0.8	661
小計	1,880,973	1,622,893	▲13.7	▲258,080
合計	38,696,412	40,700,343	5.2	2,003,931

表2 平成22年度ふるさと雇用再生特別基金事業

(単位:千円)

款	担当課	事業名	事業の概要	事業費	新規雇用の失業者の人数	
20民生費	高齢福祉課	中央老人福祉センター高齢者指導員設置事業	高齢者の相談業務や健康増進等のイベント企画を行う	1,995	1	
	社会福祉課	障がい福祉授産品新商品開発・販路拡大事業	障がい福祉サービス事業所の商品開発や生産・販売を支援を行う	2,743	1	
	社会福祉課	障がい福祉サービス利用者送迎事業	障がい福祉通所サービス利用者の送迎事業	8,906	3	
35農林水産業費	農政課	白河ブランド確立・販売促進事業	地域農産物のブランド化企画立案事業	6,753	3	
	農政課	集落営農推進事業	集落現況調査を行い、集落営農の推進を図る	3,447	1	
	農政課	新規就農者支援業務	農業生産の知識・技術等の実務研修を行い、新規就農者の支援を行う	4,164	1	
	農政課	米粉普及推進事業	米粉の需要調査及び商品開発支援事業	2,819	1	
40商工費	企業立地課	白河地域企業PR・取引拡大事業	県南地域の企業訪問により企業情報の収集、地域内の企業間交流や取引あっせん等を行う	6,278	1	
	企業立地課	起業家支援・新産業創出業務委託事業	農工商・産学官連携等により、新商品・新技術の創出を図るとともに、起業家の支援を行う	5,920	1	
	まちづくり推進室	中心市街地活性化基本計画推進事業	事業推進担当職員の採用	4,479	2	
	商工観光課	関の森公園開発・利活用促進事業	関の森公園の施設を利活用しさらなる利用促進を図る	3,941	1	
商工観光課	白河市の観光振興推進事業	観光の振興と観光資源の創出を行うとともに、(仮称)白河観光物産協会の活性化を図る	12,621	2		
45土木費	都市計画課	景観意識啓発事業	白河市の景観資源・観光資源の掘り起こしを行い、まちづくりの基礎資料とする	11,324	3	
合				計(13事業)	75,390	21

を策定します。

○表郷幼稚園整備検討委員会運営費10万円。表郷幼稚園の整備に向けた検討委員会を設置します。

国民健康保険特別会計を含む各特別会計の予算は、(表1)となっております。

○ふるさと雇用再生特別基金事業7539万円。(表2)

○緊急雇用創出事業1億960万6000円。

○重点分野雇用創出事業4914万6000円。以上の3事業で合計158名の雇用が可能となります。

各常任委員会の審査状況や一般質問については、後ページに詳細が掲載されておりますのでご覧ください。